

## 第1・2回総合部会意見への対応方針



**意見書様式（修正文案用）**  
**（新たな振興計画（素案）に対する意見）**

|    |    |     |     |   |   |  | 総合部会  |
|----|----|-----|-----|---|---|--|---|
| 番号 | 章  | 頁   | 行   | 新たな振興計画（素案）本文   | 修正文案等   | 理由等  | 審議結果（案）   |
| 16 | 2章 | P21 | 6行  | 【追加】  | <u>駐留軍用地の跡地利用に当たっては、返還前の早い段階から環境や土壌に関する立ち入り調査を実施し、徹底した支障除去を行うことが重要である。</u>                    | (第1回)駐留軍用地の環境汚染に係る立ち入り調査の実施についても、将来像実現に向けた課題と道筋で示してはどうか。<br>(第2回)「環境」や「土壌調査」等の具体的な文言を追加してはどうか。 | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>左案のとおり修正する。  |
| 25 | 4章 | P79 | 33行 | 犯罪の起きにくい社会の実現に向けては、警察安全相談体制の構築、人材育成、施設整備、各種装備資機材整備など警察基盤の強化に取り組む。     | 犯罪の起きにくい社会の実現に向けては、警察安全相談体制の構築、 <u>交番機能の充実・強化</u> 、人材育成、施設整備、各種装備資機材整備など警察基盤の強化に取り組む。         | 犯罪の起きにくい社会の実現に向けて、地域により密接に関与する交番機能の充実・強化を追記してはどうか。   | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>左案のとおり修正する。  |
| 26 | 4章 | P80 | 3行  | 治安について著しく不安を与える犯罪、社会情勢の変化に伴って多様化する特殊詐欺、サイバー空間の脅威、国際テロ等の犯罪への対応強化に取り組む。 | 治安について著しく不安を与える犯罪、社会情勢の変化に伴って多様化する特殊詐欺、サイバー空間の脅威、 <u>薬物犯罪</u> 、国際テロ等の犯罪への対応強化に取り組む。           | 若年者層の麻薬等違法薬物犯罪が問題化していることから、問題意識として追記してはどうか。  | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>左案のとおり修正する。  |
| 27 | 4章 | P80 | 16行 | 飲酒に絡む事件・事故の防止を図るため、県民に向けた多量飲酒を抑制するための広報啓発の実施、アルコール関連犯罪の防止に関する措置に取り組む。 | —   | 適正飲酒に関して、県民のみならず観光客も対象とした記載にしてはどうか。  | 【原文のとおり】<br>当県では県民による飲酒絡みの事件・事故の発生が大きな課題となっている。一方、毎年多くの観光客が訪れているところ、観光客による飲酒絡みの事件・事故の発生は極めて少なく、当県特有の夜型社会や飲酒に寛容すぎる県民性が背景にあることから、県民に焦点を絞った対策がアルコール関連犯罪防止に効果的であると考え。 |
| 28 | 4章 | P80 | 19行 | 未成年者に対し、教育委員会や学校等と連携し、飲酒の内容も含めた非行防止教室において、その危険性・有害性の広報啓発に取り組む。        | 未成年者に対し、教育委員会や学校、 <u>警察、保護者、地域等</u> が連携し、飲酒の内容も含めた非行防止教室において、その危険性・有害性の <u>教育・</u> 広報啓発に取り組む。 | 未成年者の飲酒対策について、教育委員会や学校のみならず、警察、保護者、地域との連携を加えてはどうか。また、危険性・有害性の広報啓発とあるが、教育・啓発が適しているのではないか。       | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>左案のとおり修正する。  |

|    |    |      |     |  |  |   | 総 合 部 会  |
|----|----|------|-----|--|--|---|--|
| 番号 | 章  | 頁    | 行   | 新たな振興計画（素案）本文  | 修正文案等  | 理 由 等   | 審 議 結 果（案）   |
| 29 | 4章 | P80  | 27行 | 性犯罪・性暴力被害者に対する心身の負担軽減を図るため、引き続き「性暴力被害者ワンストップ支援センター（病院拠点型）」を24時間365日体制で運営し、被害直後からの医療支援を含めた総合的かつ速やかな支援に取り組む。 | 性犯罪・性暴力被害者に対する心身の負担軽減を図るため、引き続き「性暴力被害者ワンストップ支援センター（病院拠点型）」を24時間365日体制で運営し、 <b>離島を含む協力病院等関係支援機関との連携強化を図りながら</b> 、被害直後からの医療支援を含めた総合的かつ速やかな支援に取り組む。 | 離島における性犯罪被害者支援がまだ十分ではないため、離島における被害者への支援充実を追記してはどうか。                                 | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>左案のとおり修正する。   |
| 30 | 4章 | P80  | 27行 | 性犯罪・性暴力被害者に対する心身の負担軽減を図るため、引き続き「性暴力被害者ワンストップ支援センター（病院拠点型）」を24時間365日体制で運営し、被害直後からの医療支援を含めた総合的かつ速やかな支援に取り組む。 | —  | DV防止対策に記載のある「ワンストップ支援センター」について、犯罪被害者支援の項目に入れることが適しているのではないか。                        | 【原文どおり】<br>DV及び性暴力は、ともにジェンダーに基づく暴力であると考えられるため、ジェンダーに基づく暴力の防止・被害者支援の観点から、同じ項のなかで取り扱うこととしたい。                 |
| 31 | 4章 | P80  | 33行 | 交通事故の防止や安全で円滑な道路交通を確保するため、幹線道路や生活道路において交通安全施設等を重点的に整備・更新するとともに、  | 交通事故の防止や安全で円滑な道路交通を確保するため、 <b>道路管理者と連携し</b> 、幹線道路や生活道路において交通安全施設等を重点的に整備・更新するとともに、   | 交通安全対策の強化として、幹線道路や生活道路について触れているが、道路管理者は国、県、市町村と分かれており、各道路管理者が主体となって連携することを追記してはどうか。 | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>左案のとおり修正する。   |
| 32 | 4章 | P149 | 15行 | アジア・太平洋地域における独自の地域協力外交や平和発信拠点としての役割を担い、新時代の平和構築に貢献することを目指す。  | —  | 新時代の平和構築に貢献とあるが、新時代の時期が不明瞭であるため、次世代としてはどうか。   | 【原文どおり】<br>本土復帰50年の節目となる令和4年からの新たなスタートを新時代と捉え、沖縄戦の実相や教訓を正しく継承するとともに、国内外へ「沖縄のこころ」を発信し続けることを掲げており、原文どおりとしたい。 |
| 33 | 4章 | P150 | 12行 | 平和推進の拠点となり調査研究や情報発信等を行うため「国際平和研究機構（仮称）」の設置を検討するとともに、平和に関する多様な資源の集積や様々な機関との連携強化に取り組む。                       | —  | 国際平和研究機構（仮称）について、設置主体によって国際的活動範囲が異なることから、設置主体を明記する必要があるのではないか。                      | 【検討中】  |

|    |    |      |     |   |   |   | 総 合 部 会  |
|----|----|------|-----|---|---|---|--|
| 番号 | 章  | 頁    | 行   | 新たな振興計画（素案）本文   | 修正文案等   | 理 由 等   | 審 議 結 果（案）   |
| 34 | 4章 | P150 | 24行 | 沖縄戦の実相と教訓を正しく次世代に伝えていくため、沖縄戦の調査研究を進めるとともに、子どもたちの平和を学びたいという意欲に寄り添う平和学習に取り組む。 | 沖縄戦の実相と教訓を正しく次世代に伝えていくため、沖縄戦の調査研究を進めるとともに、 <b>子どもたちの学びの機会としての平和学習の充実</b> に取り組む。 | 平和学習の推進について、子どもたちの平和を学びたいという意欲に寄り添うとあるが、実態に即し、平和の実現に貢献したいという子どもたちの意欲に寄り添うが適しているのではないかと。 | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>子どもたちの年齢や平和学習に関する習熟度に関わらず多くの子どもたちに幅広く学びの機会を提供することを目指し、左案のとおり修正する。 |
| 35 | 4章 | P151 | 9行  | 管理実態等を踏まえつつ、国や市町村、関係団体と連携を図りながら管理や支援のあり方を検討していく。                            | 管理実態の <b>調査結果</b> 等を踏まえつつ、国や市町村、関係団体と連携を図りながら管理や支援のあり方を検討していく。                  | 慰霊碑や慰霊塔の表記について、具体的な調査の結果という実態に即し、「管理実態の調査結果を踏まえつつ」としてはどうか。                              | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>実態調査を実施していることから、左案のとおり修正する。                                       |
| 36 | 4章 |      |     |   |   | 国際協力・国際課題解決の分野で、沖縄の緩衝地としての役割を明示してはどうか。  | 【検討中】<br>追記する方向で検討しておりますが、記載場所について関連部局と調整中です。  |
| 37 | 4章 | P154 | 33行 | 農林水産分野において、JICA沖縄センター等の監理団体や市町村等と連携し、                                       | 農林水産分野において、 <b>JICA沖縄センター</b> 等の監理団体や市町村等と連携し、                                  | JICA沖縄センターという表記について、正式な略称であるJICA沖縄で統一していただきたい。  | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>左案のとおり修正する。   |
| 38 | 4章 | P155 | 14行 | 建設産業の技術交流・技術協力については、JICA沖縄センターとの連携による研修等の実施や、                               | 建設産業の技術交流・技術協力については、 <b>JICA沖縄センター</b> との連携による研修等の実施や、                          | JICA沖縄センターという表記について、正式な略称であるJICA沖縄で統一していただきたい。  | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>左案のとおり修正する。   |
| 39 | 4章 | P167 | 12行 | 外国語と深い関わりのあるOISTやJICA沖縄センター等との連携、海外との文化交流等を通じて、                             | 外国語と深い関わりのあるOISTや <b>JICA沖縄センター</b> 等との連携、海外との文化交流等を通じて、                        | JICA沖縄センターという表記について、正式な略称であるJICA沖縄で統一していただきたい。  | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>左案のとおり修正する。   |
| 40 | 4章 |      |     |   |   | 環境・エネルギー分野における国際協力の推進の中で、循環型社会を構築するという要素を追記してはどうか。                                      | 環境部会へ申し送り  |

|    |    |      |     |   |  |   | 総 合 部 会   |
|----|----|------|-----|---|--|---|---|
| 番号 | 章  | 頁    | 行   | 新たな振興計画（素案）本文   | 修正文案等  | 理 由 等   | 審 議 結 果（案）  |
| 41 | 4章 | P39  |     |   |  | 日本そのものが海洋国家としての様々な課題や目標がある中で、沖縄独自の課題の設定や目指すべきところを明らかにすべきではないか。  | 【検討中】   |
| 42 | 4章 | P39  | 12行 | 漂流・漂着ごみ問題に日常的に直面している離島市町村・民間団体・住民等に対する有効な支援を講じられるかが課題であり、回収・処理の推進など早急に対策を強化することが必要である。      | 漂流・漂着ごみ問題に日常的に直面している離島市町村・民間団体・住民等に対する有効な支援を講じられるかが課題であり、  | 漂流・漂着ごみ問題について、離島を対象とした記述となっているが、日常的に直面しているのは離島だけではないので、県全域を対象とした表現にしてはどうか。また、漂流・漂着ごみ対策として回収・処理だけでなく、ごみ処理モラルの定着を加えてはどうか。 | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>左案のとおり修正する。<br>海岸漂着物については、海外由来のものが多いことから回収・処理を中心に記載しているところ。<br>なお、ゴミ処理モラルの定着については、31頁1-(1)-イ①「廃棄物3Rの推進」において記載しております。 |
| 43 | 4章 | P42  | 10行 | 我が国の海洋政策推進の新たな拠点となる国の「海洋政策センター（仮称）」を構想するなど、   | 我が国の海洋政策推進の新たな拠点となる国の「海洋政策センター（仮称）」の設置を促進するなど、   | 海洋政策センター（仮称）の構想とあるが、他の同内容の記述と合わせ、設置の促進としてはどうか。  | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>左案のとおり修正する。  |
| 44 | 4章 | P42  | 15行 | OISTの海洋関連研究や国内外のネットワークの活用、県内研究機関との連携の下、同センター構想の構築に向けた取組を推進する。                               | OISTや琉球大学の海洋関連研究、県内研究機関、国内外のネットワーク等、産官学の相互連携の下、同センターの設置促進に向けた取組を推進する。                                  | 県内研究機関との連携の部分に産官との連携を加えてはどうか。   | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>左案のとおり修正する。  |
| 45 | 4章 | P42  | 18行 | 外航・内航海運のニーズに応じ海事全般を担う船員等の次世代を担う海洋人材の育成・確保に取り組む。   | 外航・内航海運のニーズに応じ海事全般を担う次世代の海洋人材の育成・確保に取り組む。  | 海事全般を担う船員等の次世代を担う海洋人材の表記について、担うが連続することから、海事全般を担う次世代の海洋人材の育成としてはどうか。   | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>左案のとおり修正する。  |
| 46 | 6章 | P191 | 12行 | 海水温や海洋循環への影響、海洋プラスチックを含む海洋汚染の深刻化など地球規模で進行する様々な危機と国際的課題を踏まえ、持続可能な海洋環境、海洋資源及び水産資源の保全・管理に取り組む。 | 海水温や海洋循環への影響、海洋プラスチックを含む海洋汚染の深刻化など地球規模で進行する様々な危機と国際的課題や陸域からの赤土等流出を踏まえ、持続可能な海洋環境、海洋資源及び水産資源の保全・管理に取り組む。 | 第6章の広大な海域の保全・活用の中に、第4章の持続可能な海洋共生社会の構築で取組の記載がある赤土等流出防止対策を盛り込んでどうか。   | 【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】<br>左案のとおり修正する。  |

(別紙 2-4)

## 意見書様式(修正案用)

(関連体系図(案)に対する意見)

| ① 主要指標 |     |       |     |     | 総合部会    |
|--------|-----|-------|-----|-----|---------|
| 基本施策番号 | 指標名 | 指標(案) | 目標値 | 理由等 | 審議結果(案) |
|        |     |       |     |     |         |
|        |     |       |     |     |         |
|        |     |       |     |     |         |

| ② 成果指標                     |                     |       |     |  | 総合部会   |
|----------------------------|---------------------|-------|-----|--|--|
| 施策番号                       | 指標名                 | 指標(案) | 目標値 | 理由等  | 審議結果(案)  |
| 2-5)<br>多様性を尊重する共助・共創社会の実現 | 国際的な家庭問題に関する相談件数    | -     | /   | 施策を展開して評価する際に効果を捉えにくくなるのではないかと。「相談件数」より「相談できる拠点をいくつ設けたか」などのほうが分かりやすいのではないかと。 | 【原案のとおり】<br>国際的な家庭問題に関する相談については、外国の婚姻制度等について専門的な知見が必要であることから、相談件数を指標としているところです。                |
| 2-5)<br>多様性を尊重する共助・共創社会の実現 | 性の多様性に関する啓発講座等の受講者数 | -     | /   | 施策を展開して評価する際に効果を捉えにくくなるのではないかと「受講者数」ではなくて、企業での雇用人数の推移等が正確ではないかと。             | 【原案のとおり】<br>ひとりでも多くの県民が性の多様性に関する正しい知識や情報に触れ、理解を深めることが、性の多様性が尊重される社会の実現につながると考えることから、原案どおりとしたい。 |

(別紙 2-4)

| ② 成果指標                   |                  |           |     |   | 総合部会   |
|--------------------------|------------------|-----------|-----|---|--|
| 施策番号                     | 指標名              | 指標(案)     | 目標値 | 理由等   | 審議結果(案)  |
| 2-(8)<br>安全・安心に暮らせる地域づくり | 泥酔者保護件数          | -         |     | 飲み過ぎなければいいと誤解してしまうため、適正飲酒に係る教育・啓発活動の実施件数がよいのではないか。            | 【原案のとおり】<br>泥酔者保護件数は、多量飲酒や長時間の飲酒によるものが多く、成人の適正飲酒を図る成果指標としては「泥酔者保護件数」が良いと考えている。委員修正意見の「教育・啓発活動の実施件数」については、今後策定される実施計画の活動指標として示す予定である。 |
| 2-(8)<br>安全・安心に暮らせる地域づくり | 配偶者暴力相談支援センター設置数 | 配偶者暴力相談件数 |     | センターを増やすことも重要であるが、設置数ではなく相談数や被害者支援件数、一人当たりの相談員の人数などがよいのではないか。 | 【委員意見を踏まえ変更】<br>配偶者暴力相談支援センターの設置及び相談員人数は市町村の実施体制等に関係すること、また、DV被害者支援では支援対象者ごとに取組が異なることから、県の成果指標としてはDV相談件数に変更します。                      |

(別紙 2-4)

| ② 成果指標                                |                          |             |     |  | 総合部会   |
|---------------------------------------|--------------------------|-------------|-----|--|--|
| 施策番号                                  | 指標名                      | 指標(案)       | 目標値 | 理由等  | 審議結果(案)  |
| 2-(8)<br>安全・安心に暮らせる地域づくり              | 交通事故死者数                  | 交通事故件数及び死者数 |     | 全体概要を把握するためにも交通事故件数及び死者数がよいのではないか。                                     | 【委員意見を踏まえ変更】<br>左案のとおり変更する。  |
| 4-(1)<br>アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する地域協力外交の展開 | 平和に関する社会貢献活動に取り組む個人や団体の数 | -           |     | 「量」で測ることも重要であるが「質」で測ることも重要であるため、どのような平和発信のコンテンツを発表したかなどの指標も検討していただきたい。 | 【原案のとおり】<br>身近な社会貢献活動を通して平和に関する県民意識の高揚を図ることを目的とした「ちゅうちな一草の根平和貢献賞」は令和元年に創設したところであり、その受賞団体の数を指標とした原案どおりとしたい。 |
| 4-(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献     | 環境分野における国際会議等への県の参加回数    |             |     | 県が環境・エネルギー分野の国際協力を進めることを企画し、そこに県内外、国内外からどれくらい参加されたかという内容を指標にすべきではないか。  | 【環境部会へ申し送り】  |